

広報

第65号



# 日大山形

平成28年10月6日発行

色とりどりの音の粒が

今……



日大シンフォニー

# 第59回 桜華祭

Prime ~青春を謳歌しよう~

七月二日、三日の二日間  
にわたって第五十九回桜  
華祭が開催された。今年の  
テーマは「Prime」青春  
を謳歌しようだ。昨年  
から一学期期末考査終了  
後の開催となった桜華祭。  
今年は期末考査最終日の  
午後から準備が始まり、考  
査モードから一転、桜華祭  
モードとなった。



桜華祭が始まりました

慌ただしく始まった桜  
華祭初日。午前は体育館  
で開祭式、企画紹介後に  
ダンスドリル部の発表が  
行われた。二年生、一年

生、三年生、個人、全員  
という順で演技が行われ  
最後は全国大会と同じ演  
技が披露され、かわいら  
しいウサギの衣装と気持  
ちのそろったダンスが印  
象的であった。そのほか  
体育館ではアームレスリ  
ング、男装女装コンテス  
トが行われた。アームレ  
スリングでは力自慢の強  
豪たちが集い、熱い戦い  
が繰り広げられ、優勝者  
と高木先生によるエキシ  
ビジョンマッチでは迫力  
満点の真剣勝負を見せた。  
男装女装コンテストでは  
完成度の高い男装女装と  
パフォーマンスで観客を  
沸かせ、終了後も写真撮  
影を行うなど、大盛り上  
がりであった。



熱い戦い

二日目は体育館で放送  
部、一年八組による映像  
発表、TUYAアナウン  
サーの結城晃一郎さん  
による講演会が行われた。  
放送部はさすが全国大会  
出場と言える力作を見せ  
た。一年八組は初めての

映像作製であったが一生  
懸命さが伝わってくる作  
品を披露。講演会ではア  
ナウンサーの仕事わか  
りやすく、同時に「夢に  
向かって努力すること」、  
「決して諦めずに挑戦し  
続けること」の大切さも  
教えてくださった。その  
他体育館では青春を叫べ  
!!と、のど自慢が行われ  
た。青春を叫べ!!では勇  
気を出していつも言えな  
い思いを伝えた。のど自  
慢では例年に負けず、ハ  
イレベルな歌が披露され  
コンサートさながらのス  
テージとなった。



古本市

や各文化部による発表・  
展示、ホームルーム委員  
会によるお化け屋敷、図  
書委員会による古本市、  
生徒会による物産展が行  
われ、屋外では三年生を  
中心に保護者会やいくつ  
かの部活動による出店が  
軒を連ねた。あいにくの  
雨で売り上げも心配され



雨でも盛況

たが雨にも負けず、どこ  
を見ても行列の大盛況。  
「また買い出しだ」とうれ  
しい悲鳴も聞こえた。今  
年も卒業生や他校生、保  
護者の方々も大勢来校し  
旧友や恩師との交流を温  
める機会ともなった。  
雨の中の実施であった  
が、雨にも負けない賑わ

いを見せた今年の桜華祭。  
協力して創り上げた展  
示・発表、カフェや出店  
があつての盛り上がりで  
あつたことは間違いない。  
テーマ通りの「Prime」  
まさに「極上」の「青春  
を謳歌」した、思い出し  
残る桜華祭であった。



つまようじアート

## 平成二十八年度 芸術鑑賞会

六月二十一日、毎年  
恒例の本校の芸術鑑賞  
会が山形市民会館にて  
行われた。今年は「THE  
GROOVY BRASS」(ザ・グルー  
ヴィ・ブラス)という、  
ジャズブラス・アンサ  
ンブルを招いての鑑賞  
会であった。



観客席に!

時にはボーカリスト  
が入ったり、いろいろ  
な楽器の組み合わせで  
ポップスやラテン系の  
楽曲を中心としたプログ  
ラムが進んでいった。  
生徒参加のコーナーも  
あり、生徒たちもステ  
ージに上がり、その日だけ  
の打楽器隊が編成され演  
奏するという、なかなか  
できない楽しい経験をす  
ることができた。  
パフォーマーの方が客  
席通路におりてきて演奏



圧巻のハーモニー

すると、生徒達は大いに  
盛り上がり、言葉をし  
失ったり、物珍しそうに  
演奏する指を見ていたり  
とライブならではの楽し  
みを満喫できたようだ。  
毎年行われるこの鑑賞  
会。鑑賞した生徒たちの  
心の中の一ページにそれ  
ぞれの形で刻まれている  
に違いない。



生徒たちもステージへ

平成二十八年度  
日本大学付属高校生サミット

今年度の日本大学付属高校生サミットが、八月一日から三日まで、栃木県那須塩原市にある日本大学塩原研修所で開催された。本校からは二年生の三名の生徒会役員が参加した。この行事は全付属高校等二十五校の生徒が一堂に会し、情報交換・共通認識の深化・企画の具現化を目指すという目的のもと毎年一回実施されている。

今年度は「TEAM N」の広げよう日大生としての魅力づくりをテーマに四つのグループで意見交換し考えをまとめて発表した。さらに全体で一つの結論を出し、十一月に行われるNU祭総合閉会式上で発表する予定となっている。

猛暑の中であつたが、付属高校間の交流を深め、さまざまな考えに出会えたことで生徒会リーダーとしての自覚や意識を高める有意義な研修となった。この研修を通し、議論から生まれた考えを学校で発展させ、建設的な生徒会運営となることを期待する。

一年 境 翔太  
私たちのグループには積極的なメンバーがそろっており、話し合いはスムーズに進みました。日大生の魅力として、学

習・進路・部活動・国際交流・人間関係とさまざまな方面から多くの意見を出し合いました。その魅力を伝えるために、ポスター・ツイッター・ホームページなどを活用し情報を発信していくことなどが必要との意見も挙げられました。プレゼンテーションの反応もよく充実感を得ることができました。今回のサミットを通して、異なった考えを持つ人たちとの話し合いができ、普段会うことができない付属校生と多くの交流を持ち、仲よくなることができました。今後も物産品の交流・模造紙交換等の情報交換をし、つながりを更に強いものにしていきたいと考えています。

一年 進藤 意織

今回サミットに参加したくさんのことを感じ、学んだ。中でも、他校のリーダーは「自分の学校を細部まで知っている」ということに驚いた。生徒会の役員としても自分の学校のことをよく知っておくべきだと思った。

このサミットでは自分の価値観の狭さにも気づかされた。北海道から九州までさまざまな地域の付属校生がいて、価値観もさまざま、まさに十色だった。一つの物事を一つの面からしか見



参加者全員で記念撮影

ことができなかつた自分にとつて、議論を通し多種多様な観点から見つめるとはとても大きい。何よりも実感できたことは付属校交流のすばらしさだ。これもやはり魅力だと感じる。魅力という概念を今後の活動で大切にしていきたい。

一年 菊地 優杏

初めて会った人と議題について話し合ったとき私は緊張して意見をなかなか思うように述べることができませんでした。他の付属校の人たちは、自分の意見をどんどん前に出しており、驚きま

発表のための準備を通して、「二つの目標に向かって協力して取り組むことの大切さ」を学びました。生徒会は組織力が大切です。サミットに参加して体験した「団結力」・「協力し合うことの重要性」を今後に活かしていきたいと思えます。

生活指導講話

思わぬ危険は身近なところに潜んでおり、気付かないうちに事件に巻き込まれてしまうこともある。啓発活動の一環として本校では年3回、外部講師を招いて生活指導講話を実施している。1回目は山形警察署生活安全課佐藤祐子氏より「SNSのトラブルと薬物乱用防止」、2回目はPNY(ピニー)山田弥生氏より「十代の性について」、3回目は山形県立新庄病院放射線科大竹修一氏より「たばこの害について」それぞれ講話を頂いた。知っているようで知らなかったことが多く、講話を聴いて改めて身の回りの危険を認識した生徒たちは、気持ちをしっかりと引き締めていた。

◆生活指導講話

- 4/27 「SNSのトラブルと薬物乱用防止」  
(講師：山形警察署 生活安全課 佐藤 祐子氏)
- 7/6 「十代の性について」  
(講師：PNY[Peer Network Yamagata] 山田 弥生氏)
- 9/7 「たばこの害について」  
(講師：山形県立新庄病院 放射線科 大竹 修一氏)

進路説明会

多様化する卒業後の進路に対応するため、本校では各種進路説明会を行っている。6月8日・13日・7月16日に、日本大学各学部・看護専門学校の説明会が行われた。

基礎学力到達度テストも2年目を迎え、この新テストの内容も生徒達に浸透している。しかし、昨年度と推薦基準が変わった学部学科もあり、生徒達は担当教員からの説明や学習のアドバイスに、熱心に耳を傾けていた。

また6月18日・21日には、国公立大学進学説明会が開催された。それぞれ講師を招き、約1時間半にわたり説明を受けた。最新の大学入試情報や各学年で取り組むべき学習内容などの話を生徒達、保護者の方々は聞くことができた。特に3年生は、これから本格的に始まる受験に向けて、気持ちを新たにすることができたようだ。

◆進路説明会

- 6/8・13 3年日本大学各学部説明会(生徒)
- 7/16 3年日本大学各学部説明会(保護者)
- 9/3 1年進路説明会(生徒)
- 9/17 1年進路説明会(保護者)
- 10/15 2年進路説明会(生徒・保護者)

部活動報告

運動部

野球部
・第69回秋季東北地区高等学校野球山形県大会

柔道部
・全国高等学校総合体育大会

山形県高等学校総合体育大会
・山形県高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

ライオン級
齋藤 彩奈(長井北中) 優勝

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

女子
・全国高等学校総合体育大会

男子
・全国高等学校総合体育大会

文化部

吹奏楽部
・全日本吹奏楽コンクール山形県大会

放送部
・NHK杯全国高校放送コンテスト

文化祭
・第40回全国高等学校総合文化祭

ダンス部
・山形県高校放送コンテスト

テニス部
・山形県高等学校総合体育大会

バレー部
・山形県高等学校総合体育大会

ラグビー部
・山形県高等学校総合体育大会

吹奏楽部
・全日本吹奏楽コンクール山形県大会

放送部
・NHK杯全国高校放送コンテスト

文化祭
・第40回全国高等学校総合文化祭

ダンス部
・山形県高校放送コンテスト

テニス部
・山形県高等学校総合体育大会

バレー部
・山形県高等学校総合体育大会

# 体育祭

～激戦の2日間 つながる絆～

九月十四、十五日の二日間にかけて、体育祭が行われた。今年は二学期に入ってから間もない実施のため、練習不足が心配されたが、そんな心配は無用と言わんばかりのハイレベルな熱戦が繰り広げられた。また、会場内に響く応援合戦も見ものであった。クラス全員で一丸となつて戦つた二日間。この感動は今後も生徒たちの心の中で光り続けることであろう。



教員陣も負けじと奮闘



バスと共につなぐ友情

バスケットボール  
 (男子) 優勝 2組  
 二位 1組  
 三位 3組

バスケットボール  
 (男子) 優勝 2組A  
 二位 11組A  
 三位 6組A

バスケットボール  
 (女子) 優勝 1・2・3組  
 二位 5組A  
 三位 4組A

## ◆第二学年(山形市スポーツセンター)◆

## ◆第一学年(県体育館)◆

バレーボール  
 (男子) 優勝 7組  
 二位 3組  
 三位 2組  
 6組

バレーボール  
 (女子) 優勝 1・2組  
 二位 5組B  
 三位 4組A  
 7組B



目を見張る跳躍

# 文化発表会

八月二十七日に「文化発表会」が行われた。例年、演劇部と吹奏楽部は桜華祭時に発表していたが、今年度より桜華祭と分けて行う試みを始め、新たな行事のスタートを切つた。

## 演劇部

演目は宮沢賢治原作をモチーフにした「銀河鉄道」の夜。親友カムパネルラを自分のせいで亡くしたことで苦悩し成長するジョバンニをはじめ、部員たちの熱演が光った。体育館に全校生徒が集まる中、一番後ろまではっきりと聞こえる声は普段の練習の賜物だろう。堂々たる演技も見事であった。ストーリーが進むにつれ、全校生徒はほとんど演技に惹き込まれ、会場全体も熱を帯びた。しかしステージに立つ人だけでは演技は成り立たない。表には出られなくとも音響、照明、大道具の力があつたということも忘れてはならない。裏方も含め、演劇部のチームワークの良さがうかが



銀河鉄道での出会い

え、まさに部員全員で創り上げた演劇であった。演技終了とともに贈られた惜しめない拍手が成功の証といえるだろう。  
 「今僕がここにいることが一番の幸せ。過去を振り切り、今を強く生きることを決意したジョバンニのように強く歩んで行つてほしいと感じた。」

## 吹奏楽部

「まずは演奏を静かに聞いてください」という指揮者を務める齋藤陽平先生のアナウンスののち、演奏が始まった。しかしそんな説明も不要であったのではと言わんばかりの迫力ある演奏で全校生徒は自然と聞き入ってしまった。部員数24人とい

う吹奏楽の世界では少ない人数での演奏であったが、部員たちの気持ちのそろつた演奏はそんなことを感じさせない見事であった。第2部ではハリー・ポッター、嵐、ゆず、カーペンターズと観客と一緒に盛り上がる楽しいステージを行つた。演奏の合間にはMCや寸劇などを入れ、飴を配るパフォーマンスもあり、終始飽きさせない内容であった。とは言つてもやはりメインは演奏だ。時には歌い、時には手拍子とともに演奏し、時にはソロで演奏するなど、さすが吹奏楽部というステージであった。心で弾く音楽を、聴かせてくれた。



息の合った演奏

海外研究  
海報

# 英語の成り立ち

英語科教諭 河田 勤



仏国モンサンミッシェル

英語は古英語（五世紀）十一世紀、中英語（十一世紀）十五世紀、近代英語（十六世紀）十九世紀を経て、現代英語になっている。

古英語は「イングラント」が「アングロ人の土地」が語源であるように、一部族のアングロ人が使っていた言葉に過ぎなかった。しかし、その文法は現代英語と比べるとはるかに複雑で、名詞には四つの格、それぞれに単数形と複数形があり、名詞の性（男性名詞・中性名詞・女性名詞）も存在していた。形容詞はおびただしい屈折語尾があった。動詞では、全ての人称に人称語尾が付き、単数形と複数で異なり、過去形も単数形と複数形は異なっていた。単語の

発音に関しては、基本的にはローマ字読みのように表記の通りにすべて発音していた。

中英語は現在の英語の形成に重要な影響をもたらした時期である。英語は一〇六六年のNorman Conquestにより、フランス語の流入が始まり大きく変わっていく。

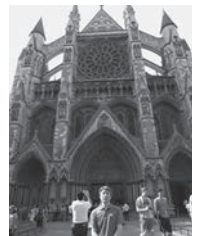
ノルマン人がイギリスを征服したことにより、イギリスの支配階級や上流階級はノルマン人が占められ、ノルマン人の言語であるフランス語が公用語となった。宮廷・議会・学校や教会での正式な言語はノルマン人が話すフランス語、これに対して英語は被支配者階級の言語という構図ができあがった。身分を表す語Baron（男爵）やnoble（貴族）が初めに流入したという事実からも、フランス語を話す階級の人々に直接仕えたイギリス人が、必要に迫られてフランス語を覚え始めたことをうかがい知ることができる。

イギリスの支配階級や聖職者はほとんどノルマン系が独占したが、彼らはフランス国内に領地を保有し続け、イギリス・フランス間を行き来していたので、フランス語が

日常語として使用された。一二〇四年イギリス国王はフランスのノルマンディー公国を失い、貴族の多くはイギリスからフランスにもどることを余儀なくされた。一方、イギリスに残った貴族はイギリス人としての意識が強くなり、英語を復活させようという機運が高まる。しかし、フランス語の教養の伝統に育った者たちが英語を話したり書いたりする時に、その言葉に相当する英単語が思い浮かばないまま、知っているフランス語を使っていたことにより、フランス語が大量に英語に流入した。こうして流入した単語は少なくとも一単語といわれそのうち七五％が現在まで残っている。

結果的にはイギリスは敗れ、敵国の言葉であるという理由からフランス語が避けられ始める。公文書等でも英語が使われ始め、英語の標準化に拍車がかかる。この時期には大量のフランス語が英語に流入したことで、複雑な語尾の変化が曖昧になつており、消失へと向かい、名詞の格変化は消えてしまった（格の水平化）。また、単語のスペリングと発音が異なる事態

が起こっている。十五世紀になつて起こつたGreat Vowel Shift（大母音推移）である。Great Vowel Shiftとは強勢のある長母音の調音位置が一段ずつ高くなり、これ以上高くなることのできない「i」「u」が二重母音化した。これにより、英単語の発音とスペリングが一致しない現象の大きな原因となつた。



英国ウエストミンスター寺院

◆具体的には

- ・長母音「a」は、二重母音↓「[ei]」への変化。
- ・長母音「e」や「e」は、長母音「[i]」への変化。
- ・長母音「[i]」は、二重母音「[ai]」への変化。
- ・長母音「[ɔ:]」は、二重母音「[ou]」への変化。
- ・長母音「[o:]」は、長母音「[u:]」への変化。

近代英語は、十五世紀十六世紀にかけてGreat Vowel Shiftにより発音とスペリングが異なつた時代を経て、印刷機の導入により確立する。当時英語には多くの方言があり、印刷する際にスペリングを固定する必要に迫られた。そこで印

刷地であるロンドン英語のスペリングが用いられ、大量の印刷物を通じて英語のスペリングが定着し、標準英語となつた。

また、ルネサンスの影響を受けて古典ギリシャ語・古典ラテン語の研究が盛んになり、大量のラテン語が流入する。庶民に無縁だったラテン語の書物も英語に訳されるようになった。（聖書の英訳）その下地として、グラマースクールが存在がある。グラマースクールとはラテン語を教える学校である。英語の語彙の六五％はフランス語・ラテン語・ギリシャ語に由来するといわれている。

文芸面ではシェイクスピアが活躍し、印刷物が広く行き渡つたことで、英語の標準化に拍車がかつた。近代英語の文法は十八世紀ころに出来上がる。さらに大航海時代、イギリスは大英帝国を築き、植民地を広げた。その植民地が市場・原料供給地となり、フランスに先んじて産業革命が始まつたことで、イギリスはすべての国々に対して有利な位置を占め、英語を世界に広める結果となつた。

現代英語は世界中でそれぞれの地域の伝統・文化等の影響を受け、独自に発展し、多様化が進んでいる。

## 平成二十八年度 特待生・奨学生決定

日本大学付属高等学校特待生  
特待生規程に基づき学業成績・人物が優れた生徒

栗原 瑞歩(山形十中)  
渡辺 菜穂(天童三中)  
安達 友威(山辺中)  
波部 鴻人(山形二中)

日本大学山形高等学校奨学生  
奨学金給付規程に基づき、学業成績又は入学試験の成績が優秀で人物が優れた生徒

齋藤 悠華(天童一中)  
内海草太郎(山形六中)  
松本 有真(山形北中)  
行徳 厚希(山形四中)  
小林 愛実(山形十中)  
安達 美波(天童一中)  
佐藤 泰海(山形一中)  
須藤丞太郎(楯岡中)  
工藤かん奈(山形三中)  
高橋駿太郎(山形附中)  
峯田 海渡(山辺中)  
古内 聖樹(山形附中)

日本大学山形高等学校  
コカ・コーラ育英奨学生  
日本大学山形高等学校  
コカ・コーラ育英奨学金  
給付要項に基づき、学業成績が優秀で人物が優れた生徒

村岡 英里(楯岡中)  
長峯 瑠奈(山形附中)  
柳川 愛理(日新中)  
近藤 勇斗(山形六中)  
大津 優花(山形四中)  
本間 康介(山形南中)

# ケンブリッジ語学研修

七月十八日～八月四日、イギリスのケンブリッジ大学・ペンブルックカレッジにて、日本大学付属高校生のための語学研修が今年も開催された。日本大学では毎年、全国の付属高校生を対象に「サマー・プログラム」と「イースター・プログラム」を実施している。現地の大学生や先生方により様々な授業、課外活動が用意されていて、生徒たちは充実した日々をすごした。

## 英語を学ぶということ

二年十組  
柴崎 翔太(山大附中)

私は中学校の授業から英語を学び始め、現在に至るまで得意教科であり、考査では比較的点数がとれていました。そんな中高一の秋に英検の二次試験の面接を受け、自分の英会話力の低さに絶望しました。英会話をする機会がない中で力がつかないのは当然ともいえませんが、自分の英語が所詮教科という枠を超えられないものだと感じ、悔やむ

とともに、それ以来自分の英語を実用的なものに近づけたいと熱望するようになり、自分なりの勉強法を模索して、この研修の機会を知り、自分の英語がどれくらい通用するか確かめたいと思い、このプログラムに参加することにしました。

あちらでは平日は一時間半の授業を二もしくは四コマ受けていました。授業といっても講義ではなく、作詩、発音・アクセントの確認や、日常よく使われる英語のフレーズなどを教わりました。内容は簡単でしたが授業内はすべて英語でやり取りが行われるため最初は聞き取るのが難しく感じましたが、段々と理解できるようになりました。午後には様々なアクティビティーがあり、それにも全て参加し、積極的に英語に触れていきま

した。研修に行く前は初の海外渡航ということもあってかなり不安でしたが、毎日英語を話すなかで英語をより身近なものと感じるようになり、英語を話すことへの抵抗が薄れ、

積極的に話すことが出来るようになってきました。そして帰国する頃には不安は消え、もっと滞在して学びたいとさえ思うようになりました。

英会話ができるようになったかといえばまだ非実用的だと思えます。しかし確実に以前より上達し、何より私の英会話が非実用的であることを強く認識できたことで今後の英語学習の良いモチベーションになりました。このような素晴らしい体験をさせて頂いたすべての皆様に感謝するとともに、英語という教科の枠にとらわれず、常に出来ることを見つけ、食欲に学習を続けていきたいです。



イーリー市の教会前にて (左側が柴崎君)

## 世界に出るための英語

二年十一組  
後藤かおる(天童二中)

このプログラムでは、英語を聞きとる能力や、日本の普段の授業の中ではあまり重要ではない英語を話す能力が、いたるところで求められました。日本の授業で習った定型文も勿論役に立ちましたが、現地の人々との生きた英会話を「楽しむ」には、座学だけの英語学習では養えない力も必要なのだと痛感しました。

ケンブリッジ大学は夏期休暇中だったので学生の数は少なかつたのですが、その代わりに、世界中からイギリスに留学してきた人々が沢山いました。彼らは高い学習意欲と目的を持ってそこに来ているので、彼らと話をすることは私の将来展望にも大変な刺激となりました。また、人種も言語も違う、同じ人間であるという事以外になんの共通点も無い人々と繋がるための、唯一の共通した意思疎通手段としての英語その重要性について身をもって感じる事ができました。反面、もっと英語を磨いておけば、と歯がゆい思いをする事もありました。

例えば、三ヶか月ほど前から大学に来ていたというオランダ人留学生と



先生からの修了証書

話した時。お互いの母国語では話せなかつたため、自然と英語を媒体とした会話になりましたが、その時は、聞かれた日本の慣習について適切な言葉でうまく説明する事ができませんでした。それまで、シス単(単語集)や授業で暗記した単語と短文を組み合わせれば、つたなくてもだいたい正確な意思疎通は可能でしたが、会話の内容がより詳しくなるにつれて、やはりそれだけでは穴が足りすぎた部分が多くなつてしまつたのです。

前述しましたが、英会話を「楽しむ」レベルに到達するには、やはり実践的な英語の力と、経験値が必要であると思えます。今の自分の実力はいかほどのか、何が足りないのか、この研修で気づくことが出来ました。大変有意義な研修でした。ありがとうございます。

## 就職志望生のための模擬面接会

八月二十日、本校会議室を会場に模擬面接会が行われた。毎年この時期に、保護者会役員の方々と面接官としてお招きし、生徒達に直接アドバイスをしていただいている。九月からの本格的な就職試験の前に、これまでの就職指導の総仕上げと位置づけられている。今年度は四名の保護者役員の方々をお招きし、十七名の生徒が一对一の面接に臨んだ。面接の前に生徒達は面接会場の廊下や控室で志望理由を中心に必死になつて復習していた。面接後は、面接官の方々からいただいたアドバイスを、一字一句聞き洩らさないように、ノートなどに書き留めていた。午前九時から十二時までのおよそ三時間、充実した時間を過ごした。就職志望生全員の志望先への内定を期待したい。

# 学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

	期 日	会場及び時間
第1回	平成28年 10月16日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回	10月30日(日)	説明会(第一体育館) 10:00~11:20
第3回	11月13日(日)	以下は希望になります。
第4回	12月 4日(日)	個別相談 11:20~
第5回	12月18日(日)	校舎見学 11:20~12:00(予定) 部活動見学 11:20~12:10(予定)

※上記以外の期日に学校参観を希望なさる方は、お電話の上ご来校ください。  
※部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。【担当/橋本、渡部】

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入学試験に関する詳しい説明をいたします。  
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

## 第十八回 桜華同窓会総会・祝賀会開催

七月二日、山形グランドホテルにて三八一名が広い会場を埋め尽くす桜華同窓会総会・祝賀会が今年も行われました。

総会では、会計報告と事業報告が行われました。祝賀会では、山形舞子の艶やかな祝舞に始まり、活躍する卒業生の演歌歌手の歌声で会場を盛り上げていただきました。また大型スクリーンに映された日大山形今昔物



挨拶をする第12代校長 名古屋 逸先生

語で涙し、懐かしい思い出話に花が咲き、同窓生のつながりの輪が一層強くなりました。

## フオト・ア・ラ・カルト



ダンスドリル部 発表



芸術鑑賞会



バスケットボール藤井・高野杯 応援



桜華祭



壮行式



演劇部 発表



国公立大学進学説明会

## 編集後記

八月三十日。台風十号が東北地方に上陸し甚大な被害をもたらした。異常気象とも考えられる気象現象は想定外の事態をもたらすことがある。しかし、台風には地球環境を整える意味で大きな役割がある。赤道近くの大気が温帯地方に送られて深海へ酸素が送られる。大雨は水不足を解消させ、河川の増水は川底の汚れを洗い流し環境を整えるといったことだ。「猛暑」や「ゲリラ豪雨」の原因は温暖化と考えてしまうのも仕方ない。しかし、これらのこともまた、地球が地球として存在するために必要なこととして起きているのかもしれないのである。

リオ五輪に沸いた夏。スポーツと平和の祭典に私たちは一喜一憂し、感動に包まれた。二〇二〇年の舞台は東京にやってくる。新国立競技場には緑と木材がふんだんに使われ、自然と共に歩む日本をよく表現しているように感じる。自然と上手に付き合ってきた日本人だからこそ、自然と共に、地球と共に生きていく術をこれからも考えていきたいものである。

日本大学山形高等学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇二三-六四一-六六三一(代)  
FAX 〇二三-六四一-六六三四  
URL <http://www.ymgf.hs.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
写真提供 (有)カメラの石山・日大山形写真部